

「ユリノキ」の花が咲きました。



この「ユリノキ(百合の木)」は区道の街路樹です。花は木の上の方に咲くため、下から見ても葉に隠れて見つかりませんが、見つかるとてもうれしい気持ちになります。

＜見るときは車に注意してください＞



上) 近くに寄れないので、アップにしました。
右) 1本の木にたくさん花をつけます。
下) この時は花を5つ見つけました。



下) 道路の反対から望遠レンズで撮影しました。



このユリノキが見られる場所は、南馬込6丁目。浅草線馬込車両基地前を通る区道で梅田小学校の近くです。

ユリノキのデータ

- 和名は「ユリノキ(百合の木)」
英語名は「チューリップツリー(Tulip tree)」といます。
- 原産地は北アメリカで、モクレン科ユリノキ属の落葉高木です。葉は大きく、逆にしたシルエットが半纏(はんてん)に似ていることから、別名を「ハンテンボク(半纏木)」とも言うそうです。その他の別名で「ヤッコダコノキ」「ゲンバイノキ」とも。
- 最近でこそ街路樹や公園樹としてよく目にするようになりましたが、明治の初めころ日本に入ってきたそうです。当時チューリップがほとんど知られていなかったため、ユリノキという名前がついたそうです。
- 木(樹)の高さは、20～30m(肥沃な地域では50～60m)にも達するそうですが、区道のユリノキはどのくらい育つのでしょうか？
- 新第三期(2600～200 万年前)の地層から葉の化石がよく見つかるそうで、生きている化石ともいわれているそうです。
- 10～11 月頃黄褐色の実をつけるそうです。見つけたらまた写真を撮ろうと思います。